

企画・運営 山形新聞社

減災は、特別なことじゃない。 毎日の暮らしの延長線上にある、あたりまえのこと。

このセミナーのテーマは「フェイズフリー減災」
「無理して備えない」「我慢しない」
そんな視点で、身の回りを見つめ直してみませんか？

こんな方に
おすすめです！

- * 防災に関心はあるけど、何から始めたらいいかわからない方
- * 子どもの安全、子どもの未来について考えている方
- * 大学生、高校生、中学生で、地域のために何かしてみたいと思っている方
- * いざという時に、自分と家族、周りの人を守る知識がほしい方

当日のプログラム

12:00 受け付け開始

12:15 開会・災害食ミニランチ

災害食と非常食の違いとは…？災害時の食を味わいながら学びます

13:00 お話「私の街の“リアル”とフェイズフリーな減災」

各地域の災害リスクや防災活動の現状を知り、我慢・無理をしなくて備える減災について考えましょう

13:50 女性の声の届かない「危ない避難所」とは？

避難所課題解決ワークショップ

地域の縮図「避難所」に「私たち」の視点を加えよう。事例を基に「できること」をみんなで話し合います

15:10 「防災士」になった女性たちのショートムービー上映

センパイたちも「私たち」と同じだった。やっしょーまかしょー！小さな一歩を一緒に！

15:30 閉会

グラフィックレコーディング
②
ファシリテーター



稲村 理紗さん
NPO法人まちづくり学校
東北公益文科大学・東北芸術
工科大学 非常勤講師

開催概要

時 間 / 各回共通 12:15～15:30（受け付け12:00～）

会 場 / **村山** 1月18日⑨ 山形国際交流プラザ（山形ビッグウイング）4階中会議室（山形市平久保）

庄内 2月 1日⑨ 酒田市公益研修センター（東北公益文科大学酒田キャンパス内）

置賜 2月 8日⑨ シェルターなんようホール（南陽市三間通）

最上 2月23日⑧ 新庄市民プラザ（新庄市大手町）

対 象 / 山形県内にお住まいか、通勤・通学されている女性（中学生以上）

定 員 / 各回50名程度（先着順）

参加費 / **無料**

託 児 / **無料**（満1歳～未就学児。各会場で定員あり、先着順。要予約）

申し込み
締め切り

各開催日の
10日前
まで

お申し込み方法

こちらの二次元コードから
お申し込みフォームに
アクセスしてください



【お電話でのお申し込み・お問い合わせ】

山形新聞社広告局 女性のための減災セミナー係

TEL 023-664-0295（平日10:00～17:00）

Mail bousai@yamagata-np.jp